

京丹波町議会

総務産建常任委員会 行政視察研修レポート

京丹波町議会 申し合わせ事項 第6章 議員研修に関すること 第2 各常任委員会の研修（2）にもとづき、行政視察研修レポートを提出します。

▼日にち：2023年10月12日（木）～10月13日（金）

（令和5年）

▼場所：岡山県真庭市

▼内容：真庭 SDGs・バイオマスツアー バイオマス循環農業



京丹波町議会議員

山崎 裕二

京丹波町と真庭市における生ごみ処理の比較

— A comparison of garbage disposal in Kyotamba Town and Maniwa City —

【目次】

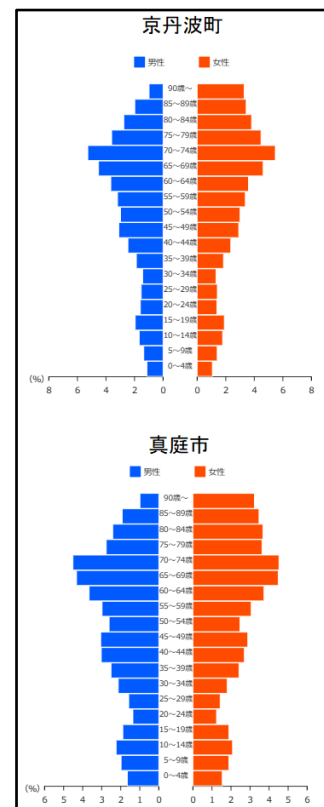
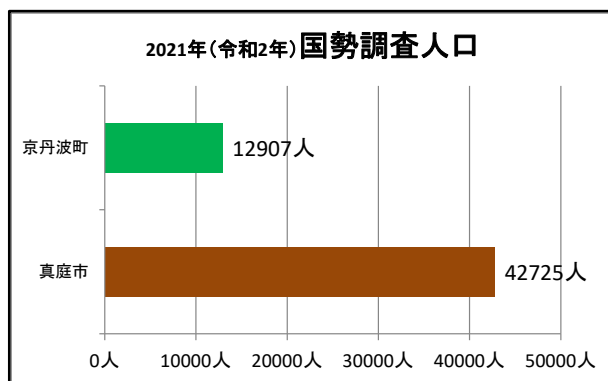
1. 京丹波町と真庭市の概況
2. 京丹波町（船井郡衛生管理組合）と真庭市の可燃ごみ
3. 京丹波町の生ごみ処理機器等購入助成制度
4. 真庭市の生ごみ等資源化事業
5. 提言とまとめ

4月21日、全員協議会において、京丹波町と南丹市の一部事務組合である船井郡衛生管理組合（南丹市八木町室河原大見谷47）に行き、同組合の業務について、説明を受けるとともに、京都中部クリーンセンター、一般廃棄物積替保管施設ほかを訪ねました。総務産建常任委員会における真庭市での行政視察研修の機会を活かし、以下では、京丹波町と真庭市における生ごみ処理について、比較考察していきます。

1. 京丹波町と真庭市の概況

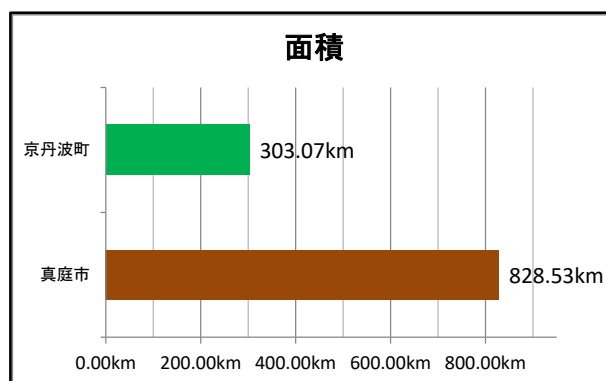
2021年（令和2年）国勢調査人口は京丹波町が1万2907人、岡山県真庭市が4万2725人で、京丹波町のおよそ3.3倍です。

ただし、同年の人口ピラミッド¹をみますと、一瞥して、かなり似通っていることが読みとれます。



¹ RESAS 地域経済分析システムより

また、面積は、京丹波町が 303.07km² に対して、真庭市が 828.53km² で、京丹波町のおよそ 2.7 倍です。



真庭市は、2005 年（平成 17 年）3 月 31 日、上房郡北房町、真庭郡勝山町・落合町・湯原町・久世町・美甘村・川上村・八束村・中和村

の 5 町 4 村が合併し、市制を施行しました。鳥取県と境を接する岡山県の北中部に位置し、南北 50km、東西 30km に広がる面積は、県下市町村のなかで最大（県土の約 11.6%）です。



2. 京丹波町（船井郡衛生管理組合）と真庭市の可燃ごみ

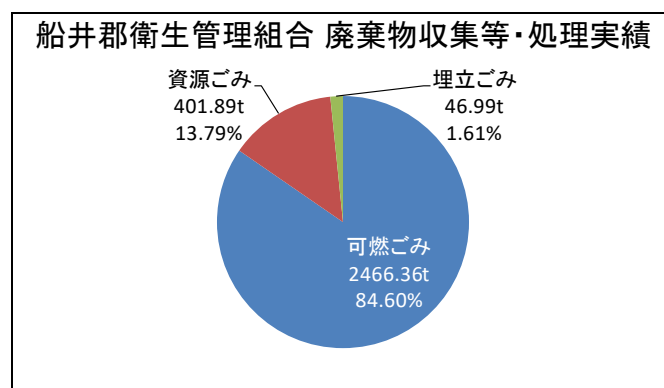
船井郡衛生管理組合の廃棄物収集等・処理実績²によると、2022 年度（令和 4 年度）における可燃ごみは、家庭系で 1622.660 t（前年度比：99.09%）、事業系で 843.700 t（前年度比：101.73%）の合計 2466.360 t（前年度比：100.02%）となっています。

また、ごみ全体に占める割合は、可燃ごみ（家庭系・事業系）が 84.60%、資

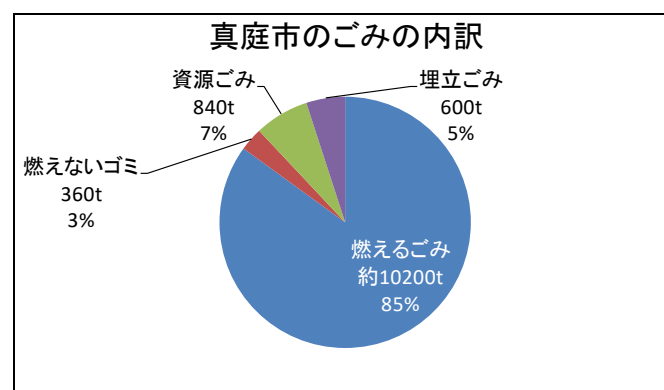
² 『令和 4 年度 事業報告書』 50 ページ。

源ごみ（アルミ [6.435 t]、金属・粗大・家電 [99.512 t]、ペットボトル [23.769 t]、ビニール類 [145.820 t]、紙パック [2.160 t]、段ボール [20.490 t]、雑がみ [28.420 t]、乾電池 [5.200 t]、蛍光灯 [1.830 t]、ビン類 [68.250 t]）が 13.79%、埋立ごみ（ガラス・陶磁器）が 46.990 t で 1.61%です。

なお、同組合に対する京丹波町の分担金等は、年々、増加傾向にあり、昨年度決算では、塵芥処理分は 1 億 9945 万 1000 円です。



他方、2021 年度（令和 3 年度）における真庭市のごみの概算内訳³は、燃えるごみが約 1 万 1200 t（85%）、燃えないゴミが約 360 t（3%）、資源ごみが約 840 t（7%）、埋立ごみが約 600 t（5%）で、年間およそ 1 万 4000 t の排出量です。



なお、燃えるごみの重量ベースの内訳⁴は、生ごみが約 5490 t（49%）、リサイクル可能な紙が約 2350 t（21%）、プラスチック類が約 1570 t（14%）、その他が約 1790 t（16%）で、クリーンセンターまにわ（30 t/日）、真庭北部クリーンセンター（20 t/日）、コスモスクリーンセンター（30 t/日）の市内 3 つの施設ほかで、毎年、約 7 億円の費用をかけて処理されています。

家庭や事業所から出る生ごみ、いわゆる食品廃棄物の焼却には、毎年、多額の費用を要しており、施設の老朽化に加えて、焼却灰などを埋め立てる最

³ 真庭市 環境課「持続可能なまちづくり～バイオ液肥の利用と農業」（2023 年（令和 5 年）10 月 12 日配布資料），8 ページ。

⁴ 同，9 ページ。

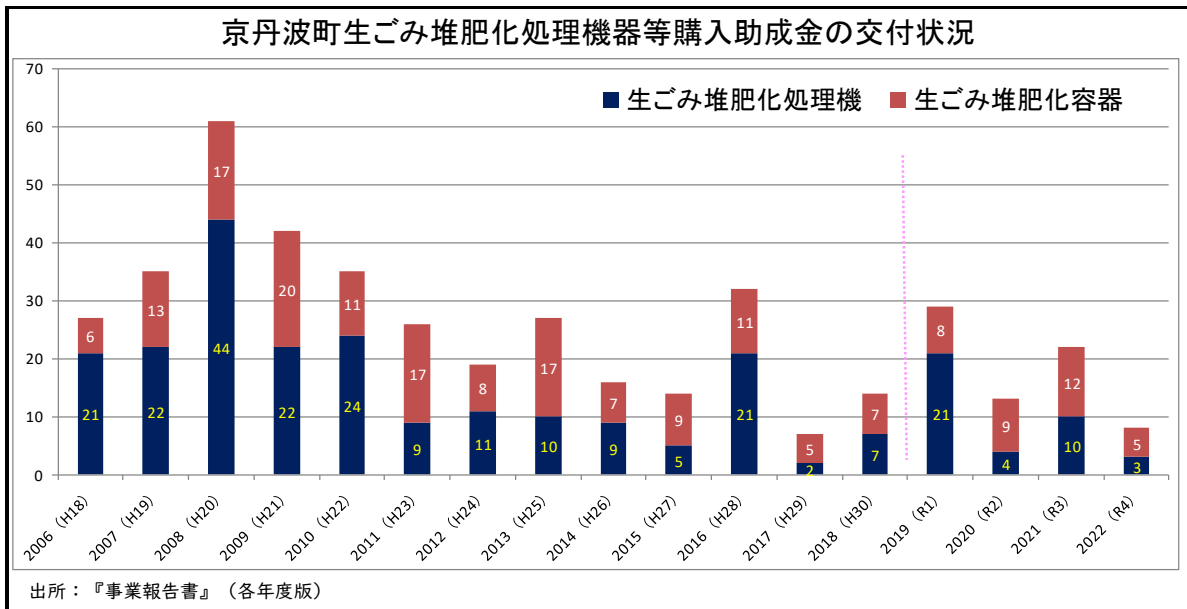
終処分の県外民間施設への依存といった課題も発生しています。

3. 京丹波町の生ごみ処理機器等購入助成制度

京丹波町では、家庭の台所から排出される生ごみなどを自家処理することによって、ごみの減量化を促進し、資源の有効利用に資するとともに、生活環境の保全を図ることを目的として、生ごみ堆肥化処理機〔電気製品〕と生ごみ堆肥化容器〔コンポスト〕の購入に対し、助成金を交付しています⁵。

助成金の額は、生ごみ堆肥化処理機が1世帯1基以内で1万円、生ごみ堆肥化容器が1世帯2基以内で2000円を限度としており、2回目以降の助成は、先の助成から、5年を経過した後でなければ、対象となりません。

なお、かかる助成金の財源は、ここ数年、豊かで美しい環境を守るまちづくりを用途指定とする京丹波町ふるさと応援寄附金が充てられています。



(1) 生ごみ処理機のメリット

生ごみ処理機を使用するメリットとしては、大別すると、ごみ減量、悪臭

⁵ 詳細は、京丹波町生ごみ堆肥化処理機器等購入助成金交付要綱 参照。

抑制、適時処理の3点が考えられます。

・ごみ減量

生ごみ処理機を使えば、生ごみの量を減らすことができます。余計な水分が取り除かれる、あるいは、微生物の力によって、生ごみが分解されるので、結果として、ごみの容量はコンパクトになります。

生ごみは、可燃ごみ全体のなかでも、重量・スペースともに大きな割合を占めており、容量を減らすことができれば、ごみ出しの負担も軽減でき、ごみ捨て場までの距離がある方やごみ出しに負担を感じている方にとって、生ごみ処理機の導入は大きなメリットとなる可能性があります。

また、生ごみの減量化によって、ごみ袋のサイズダウンや購入頻度の長期化にも繋がります。



FNN プライムオンラインより

・悪臭抑制

水分含有量の増加と相俟って、雑菌が繁殖し、悪臭発生の条件も高まります。乾燥タイプの生ごみ処理機は、悪臭への対処にも効果的です。

・適時処理

京丹波町では、週2回の収集曜日当日 午前8時半までに、指定のごみ集積場まで、ごみ袋をもっていく必要があります。生ごみ処理機を使えば、曜日を気にすることなく、自宅や自宅周辺でごみの減量ができ、便利です。

(2) 生ごみ処理機のデメリット

対照的に、生ごみ処理機のデメリットとしては、大別すると、コスト、設置場所などが挙げられます。

・コスト

購入助成金によって、イニシャルコストは抑えられるもの、使用に伴う電気代などのランニングコストがかかります。とりわけ、ドライヤーのように、高温風で生ごみを乾燥するタイプの生ごみ堆肥化処理機は、消費電力も大きく、動作音も発生します。微生物が生ごみを分解する生ごみ堆肥化容器は、堆肥化まで、長い日数が必要で、かき混ぜる手間などもかかります。

・ 設置場所

処理容量が大きい生ごみ処理機には、ある程度のスペースが必要です。また、外に置くタイプの生ごみ堆肥化容器は、設置場所にも気を配る必要があります。

4. 真庭市の生ごみ等資源化事業

(1) 家庭ごみ（生ごみ）資源化促進モデル事業

真庭市では、2011年度（平成23年度）から、222世帯を対象に、生ごみ分別モデル事業を開始し、翌2012年度（平成24年度）には892世帯、2013年度（平成25年度）には3362世帯へと対象を拡げています。

さらに、2014年度（平成26年度）から、農林水産省の地域循環型バイオガスシステム構築事業（期間：3年）がスタートし、翌2015年（平成27年）7月からは、対象地域を久世地区の約4400世帯に拡大するとともに、バイオ液肥実証プラントの稼働を開始し、焼却ごみの減量化に向けて、生ごみを分別収集する家庭ごみ（生ごみ）資源化促進モデル事業を進めてきました。かかる社会実験により、生ごみを分別収集し、焼却ごみの減量化を図り、経費節減や生ごみを食品循環資源とする可能性の調査がされてきました。



真庭市ホームページより

・生ごみとして出せるもの・出せないもの

生ごみとして出せるものは、調理くず、食べ残し、肉類・魚介類（骨も可）、野菜、果物、加工品、海藻類など（ビニール、セロハンなどは取り除く）です。生ごみは、市民のみなさんの利便性に配慮し、365日24時間いつでも、ごみ集積所のバケツに捨てることのできるように変更されました。生ごみの約70%が水分で、腐敗や悪臭の原因は水分が大半です。水をよく切ると、軽くなって、ごみ出しが楽になり悪臭も減ります。

他方、生ごみのなかでも、リサイクルが困難なもの（卵の殻や貝殻など）については、燃えるごみに出します。

生ごみの分け方

重要 腐敗と悪臭を防止するため、水分をよく切ってからお出しください。

入れてほしいもの					
 野菜・野菜くず <small>野菜・葉・皮・芯</small>	 果実類 <small>果実・皮・芯・種</small>	 調理くず・食べ残し <small>ご飯類・おかず類 弁当の食べ残し など</small>	 魚介類・海藻類 <small>魚全般（頭・骨もOK） えび・かに・ワカメ など</small>	 肉類 <small>肉全般（骨もOK） ソーセージ・ハム など</small>	 その他 <small>漬物・ゆかどご・味噌 茶殻・コーヒードリ้ง・豆腐など</small>
入れてはいけないもの					
 たまごの殻 <small>「可燃ごみ」へ</small>	 貝殻 <small>「可燃ごみ」へ</small>	 剪定枝・落ち葉 <small>「可燃ごみ」へ</small>	 誤って混入されやすい異物 <small>燃えるものは「可燃ごみ」へ、その他のものについては、 お住まいの地区の「真庭市家庭ごみ分別表」に従って排出してください。</small>		

お問い合わせ先 **真庭市役所 環境課** 電話：42-1113

(2) 生ごみ等資源化施設整備事業

2021年（令和3年）7月から、来年秋頃の稼働を目指して、生ごみ等の液肥化による資源循環を行う生ごみ等資源化施設整備事業も進捗しています⁶。



真庭いきいきテレビより

⁶ 真庭市 環境課，前掲資料，26・40 ページ

なお、施設の整備費用は 38 億 1700 万円（財源は環境省による循環型社会形成推進交付金が約 1/3、過疎対策事業債が約 2/3）です⁷。

新施設の稼働に伴い、市内に 3 か所あるごみ焼却施設は 1 か所に統合されるとともに、生ごみ等資源化施設（生ごみ処理能力：1 日 10 t）として、し尿処理施設 1 か所も 1 か所新設され、処理能力も年間 3 万 3000k1（燃えるごみ：約 40% の削減）に増強されます。



真庭市では、これらの廃棄物処理施設の整理・統合を通じて、ごみの焼却を減らし、年間約 2 億円、ごみ処理費を削減するとともに、脱炭素社会にも貢献する効率的なごみ処理によって、温室効果ガス 年間 2113 t の削減も見込んでいます。

5. 提言とまとめ

真庭市では、丁寧な啓発を通じて、市民のみなさんの理解を深めながら、10 年以上に及ぶ社会実験の積み重ねにより、生ごみ処理に取り組んでこられました。

目下、真庭市では、新たな大規模施設が建設中で、今後、全市民を対象・主体として、生ごみを含むごみ排出量のさらなる削減を目指していくこととなります。

対して、京丹波町における生ごみ処理機器等購入助成制度は、デメリットと較量して、多くのメリットが看取できるものの、残念ながら、町民のみなさんに一巡しているとは言えません。

船井郡衛生管理組合においても、真庭市同様、最終処分を含むごみ処理を域外施設へ依存している状況であり、とりわけ、可燃ごみの少なからぬ部分を占めている生ごみのいっそうの削減は喫緊の課題です。

一部事務組合を構成する南丹市においても、生ごみ処理機の購入補助⁸が行

⁷ 真庭市 環境課ヒアリング

⁸ 詳細は、南丹市生ごみ堆肥化容器等購入補助金交付要綱 参照。

われており、生ごみ堆肥化処理機〔家庭用電気製品など〕では、1世帯1台（更新は不可）、上限補助額2万円として、購入費の1/2以内の補助、生ごみ堆肥化容器〔コンポスト〕では、1世帯2基以内（更新は不可）、上限補助額4000円として、購入費の1/2以内の補助を行っています。かかる補助額は、いずれも京丹波町の助成額の2倍に相当しています。

府内市町村の生ごみ処理機器等購入助成制度の状況

2023年(令和5年)4月現在

	対象			補助率 助成率	販売店 指定	内 容
	電気式	EM容器	コンポスト			
京都市						
福知山市						
舞鶴市	1万0000円	4000円	4000円	1/2	なし	電気式は1世帯1基まで、EM容器・コンポストは1世帯2基まで
綾部市						
宇治市						
宮津市						
亀岡市	2万0000円	2万0000円	2万0000円	1/2	市内	電気式は1世帯1基まで、EM容器・コンポストは1世帯2基まで 5年度以内の再申請不可
城陽市	2万0000円	4000円	4000円	1/2	なし	電気式は1世帯1基まで、EM容器・コンポストは1世帯2基まで
向日市	1万0000円	4000円	4000円	1/2	なし	電気式は1世帯1基まで、EM容器・コンポストは1世帯2基まで
長岡京市						
八幡市						
京田辺市	2万0000円	4000円	4000円	1/2	なし	電気式は1世帯1基まで、EM容器・コンポストは1世帯2基まで
京丹後市						
南丹市	2万0000円	4000円	4000円	1/2	なし	電気式は1世帯1基まで、EM容器・コンポストは1世帯2基まで
木津川市		2万0000円	2万0000円	1/2	なし	5年以内の再申請不可
大山崎町	6万0000円	6万0000円	6万0000円	2/3	なし	5000円未満は対象外 5年以内の再申請不可
久御山町						
井手町	2万0000円	4000円	4000円	1/2	町内	電気式は1世帯1基まで、EM容器・コンポストは1世帯2基まで
宇治田原町	2万0000円	2万0000円	2万0000円	1/2	なし	1世帯2基まで
笠置町	3万0000円		6000円	1/2	なし	
和束町	3万0000円	6000円	6000円	定額	なし	
精華町	2万0000円	2万0000円	2万0000円	1/2	なし	EM容器は1世帯2基まで 5年以内の再申請不可
南山城村	3万0000円		6000円	範囲内	なし	電気式は1世帯1基まで、EM容器・コンポストは1世帯2基まで
京丹波町	1万0000円	2000円	2000円	定額	なし	電気式は1世帯1基まで、EM容器・コンポストは1世帯2基まで
伊根町	3万0000円	3万0000円	3万0000円	1/2	町内	
与謝野町	1万5000円	5000円	5000円	1/2	なし	電気式は1世帯1基まで、EM容器・コンポストは1世帯2基まで

なお、2018年度（平成30年度）までは、京丹波町においても、助成金の額は、生ごみ堆肥化処理機が1世帯1基以内で2万円、生ごみ堆肥化容器が1世帯2基以内で3000円を限度としていました。

また、50kg以下を無料としていた船井郡衛生管理組合への直接搬入（家庭系一般廃棄物）の処理手数料についても、公共サービスを受ける特定の方に、受益の範囲内で、使用料や手数料等を負担していただくことが公平で合理的との判断にもとづき、一般廃棄物の処理に関して、10月1日から、50kg以下でも一律990円と有料となりました⁹。

これらの状況を総合的に鑑み、要綱改正に至った経緯や意義を改めて見つ

⁹ 船井郡衛生管理組合「直接搬入ごみ（家庭系）処理手数料の一部改正について」より。

	【9月30日まで】	【10月1日から】
直接搬入処理手数料 (家庭系一般廃棄物)	50kg以下 無 料	50kg以下 一律 900円(税抜)

め直すとともに、再度、上限助成額の引き上げおよび助成率の設定を俎上に載せていくことも必要と推し量ります。

視察研修を通して、真庭市の生ごみ等資源化施設といったハード面のあり様はたいへん意義深いものであったと実感するものの、京丹波町においては、何よりもまず、生ごみ処理についての町民のみなさんのハード面の協力、そして、生ごみ削減に向けたソフト面での浸透を粘り強くつづけていくこと、そして、今一度、生ごみ処理機器等購入助成制度の検証を行っていくことが大切と考えます。

折しも、真庭市からの行政視察研修 帰着時、役場 大会議室では、多くの報道機関に参集いただき、タウンプロモーションの方針である**京丹波町目指す新しい「まち」のかたち**のリリースが行われていました。プロモーションキーワードには、**GREEN GREEN KYOTAMBA**が掲げられています。京丹波町の雄大な自然からインスピレーションを得た**GREEN**には、自然、健康、成長、新鮮さ、前向きな姿勢が、そして、**GREEN GREEN**には、**GREEN**の意味を強調し、様々な**GREEN**が存在する多様性と、こだまのように共鳴していくことが表現されています。

来年秋には、真庭市の新施設も稼働します。再度の見学も念頭に置きつつ、あらゆる可能性を探りながら、町の未来が**GREEN GREEN KYOTAMBA**をキーワードに、持続可能で包摂的なものとなるよう、引きつづき、京丹波町議会議員として、公共政策の決定者、執行機関の監視者、政策などの提案者、町民のみなさんの意見の集約者の役割を果たしていきます。



【謝辞】

行政視察研修をやり多いものにするために、サポートいただきました真庭市、一般社団法人真庭観光局および議長、議会事務局職員その他すべてのみなさんに感謝しています。ありがとうございました。